

自立活動だより

平成26年12月発行

12月の自立活動だよりは、高等部の取組について紹介します。

今年度の高等部は、肢体不自由学級（教育課程Ⅰ）に12名（訪問生3名を含む）、知的障害学級（教育課程Ⅱ、Ⅲ）に103名の生徒が在籍しています（12月1日現在）。

今回は、教育課程Ⅰ、Ⅱ、Ⅲからそれぞれ自立活動の取組（時間における指導）の一部を紹介します。

教育課程Ⅰ

教育課程Ⅰでは、「時間における指導」として毎日1限目と火曜日7限目、そして水曜日の2・3限目に生徒の実態に応じた授業を行っています。今回は、個に応じた取組の一部を紹介します。

〈生徒Aさん〉



「健康の保持」
「身体の動き」



体幹伸ばしと股関節のROM - Ex. → 装具を装着して→立位（15分～20分）その日によって、自分で立位時間を決めます。



「身体の動き」

〈生徒Bさん〉



「健康の保持」
「身体の動き」



「体操と立位」
「肩甲骨や両腕に均等の力が入るようにしています。そして、両足に均等な体重をかけ、立位でバランス感覚を養います。」

〈生徒Cさん〉



「歩行」
毎日取り組んでいる校内歩行。継続は力になります。

〈生徒Fさん〉



「身体の動き」

〈生徒Dさん〉

「ペグさし」
手指の巧緻性を高めます。

〈生徒Eさん〉



「手浴・足浴」
血行促進、心身のリラクゼーションをはかります。



「健康の保持」
「心理的な安定」
「身体の動き」

「座位」
筋緊張の緩和と体幹のバランスを大切にしています。

なるほど。

自立活動部員

担任の先生より

教育課程Ⅰの自立活動では、1つの活動に、複数のねらいが含まれることが多いかな～。

教育課程Ⅱ

教育課程Ⅱでは、火、木曜日の4限目を自立活動の「時間における指導」として設定しています。指導の形態は、個別指導または目標を達成する上で効果的と考えられる小集団（2～3人）での指導を行っています。

《生徒Gさん》 「健康の保持」「心理的な安定」

歩行姿勢改善に向けての取組を一部紹介します。この生徒は、脊柱側弯と右足に軽いマヒがあり、外旋しているため、学校と家庭で毎日、筋力トレーニングとストレッチを行っています。自立活動（時間における指導）を中心に、自分にとって「体づくり」の必要性を意識し、主体的に取り組む習慣を身につけます。

〈ねらい〉

- ・歩行姿勢を改善する。
- ・体づくりの習慣を身につける。

〈取組内容〉

ポイント①
少し前の線を意識して歩く



ポイント② 真上に膝をあげる
ポイント③ つま先をまっすぐに出す



担任の先生より

この取組を本人が意識して、家でもがんばっています。

本人の意識付けて大事なことですね。

自立活動部員

教育課程Ⅲ

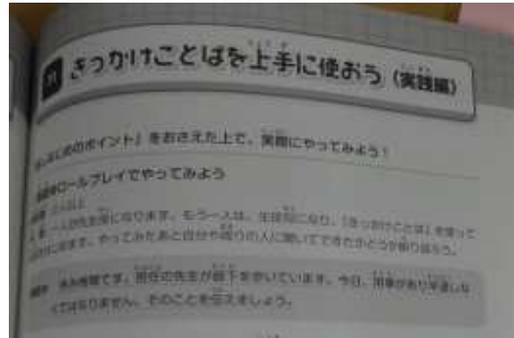
《高等部3年生》「コミュニケーション」

高等部教育課程Ⅲ（3年生D組）では、週に1回の自立活動の時間に来春社会に出た時に職場で適切なコミュニケーションが図れることを目指してSST（ソーシャルスキルトレーニング）に取り組んでいます。

「人の話を聞くコツ」「きっかけことばを上手に使おう」「上手なお願いの仕方」「わかりやすく説明しよう」等をテーマにできるだけ具体的な場面を想定し、一人ひとりが自分の考えを持ち、それをお互いに発表したり話し合ったりしています。

特に盛り上がるのが、ロールプレイングです。それぞれがその役になりきり、その場面に相応しい言葉や態度について考えて演じ、それについてお互いで振り返る取組です。

このようにクラス全体でお互いにコミュニケーションを図ることも意識しながらコミュニケーションのスキルが向上するように学んでいます。



【教材紹介】

かがわ出版

NPOフットワークかながわ

LD発達相談センターかながわ

あたまと心で考えよう

「SSTワークシート」思春期編

担任の先生より

自立活動部員

コミュニケーションの力は、社会に出るにあたっての必要な力の1つ。大切な取組をされていますね。

学校では、随分コミュニケーションがとれるようになったが、実習等外へ出るとまだ難しいかなあ。今後も継続していかないと。